

入選

おともだちのやさしさ

岡山県 帯江小学校

2年 近藤希鶴

わたしは、はじめて行くばしょや、はじめて会う人にとてもきんちょうします。人の前では上手に話せません。大きな音もにがてで、とくにかみなりが大きいです。雨の日も、かみなりがなるかなと思って、なみだができることもあります。

きょねん、小学生になってはじめての教しつや先生やおともだちにドキドキして、1人で学校に行くのがこわくて、おかあさんに教しつまでついてきてもらっていました。くつばこからあるけなかつたり、先生に手をつないでもらったりして教しつへ行っていました。

そのとき、いつもクラスのおともだちが、「おはよう。」や、「いっしょに教しつまで行こう。」
「今日の体いくたのしみだね。」とやさしい声で言うてくれました。きんちょうしてすぐにあるけなかつたけれど、こころの中はとともうれしかったです。

すこしずつおともだちとも話せるようになってたり、なかつに学校に行けるようになってたりしたけれど、やっぱり大きい音や雨の音がにがてなので、「イヤープラグ」という音が小さく聞こえる耳せんをときどきつけていました。クラスのおともだちに、

「なにをつけているの？」

と聞かれて、わたしがこたえられなくてだまっていたら、なかよくなったおともだちが、

「大きい音がにがてだからつけているんだよ。これをつけてたら音が小さく聞こえるからあんしんするんだよ。先生もしてるよ。」

とかわりに言うてくれました。とともうれしかったです。それから、みんなもなんでイヤープラグをつけているかをわかってくれたので、あんしんしてつかうことができました。

冬休みまえに、先生とお母さんとやくそくしたので、3学期からはじぶんで学校に行きました。くつばこや教しつのまえで足がとまってしまうこともあったけれど、そのときもおともだちがたすけてくれました。

2年生になってからは、1人で教しつに入れるようになりました。まだ、雨の日は、なみだが出たりするけれど、先生とおともだちが、わたしのにがてなものを知ってくれているので、がんばることができています。

こまっている人に声をかけたり、わからないことを教えてあげたりすることもできるようになりました。

わたしのこれからのもくひょうは、みんなの前で大きな声ではっぴょうができるようになることです。そして、おともだちがやさしくしてくれたように、だれかにやさしさをかえしていける人になりたいです。